

# 令和5年度事業実施結果

## (1) 行政施策の立案及び実施に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和6年3月末時点）
1	伊勢原市行財政改革推進委員会	企画部 経営企画課 行政経営担当	政治経済学部 政治学科 小林 隆 教授	市の行財政運営の点検を行い、伊勢原市行財政改革推進計画の進捗状況について意見を述べる。	期日 ①8月8日②10月11日③1月18日 ④3月26日
					場所 市役所
					内容 伊勢原市行財政改革推進計画の進捗状況
					参加者数 8名
					成果及び課題 市の行財政運営の点検を行い、評価をいただいた。
2	伊勢原市環境対策審議会	経済環境部 環境対策課	医学部 医学科 基盤診療学系 立道 昌幸 教授	環境基本計画の年度報告書など環境対策に関する重要な事項を調査審議する。	期日 10月25日
					場所 市役所 3A会議室
					内容 第二次伊勢原市環境基本計画令和4年度報告
					参加者数 9名
					成果及び課題 専門的見知から御意見をいただいた。
3	伊勢原市地域福祉計画点検推進委員会	保健福祉部 福祉総務課	教育開発研究センター 御領 奈美 准教授	伊勢原市地域福祉計画の円滑な推進を図るため、計画の進捗状況の点検、改善及び施策の充実方法等について審議を行う。	期日 1月29日
					場所 市役所 議会第2委員会室
					内容 伊勢原市地域福祉計画の点検評価
					参加者数 9名
					成果及び課題 専門的見知から御意見をいただいた。
4	伊勢原市自殺対策計画推進委員会	保健福祉部 障がい福祉課	医学部 医学科 総合診療学系 山本 賢司 教授	自殺対策計画策定のため、計画推進委員会を開催する。	期日 ①7月27日②10月19日③11月30日④2月19日（書面会議）
					場所 市役所 会議室
					内容 第2期伊勢原市自殺対策計画の策定
					参加者数 13名
					成果及び課題 専門的な御意見や御指摘をいただき、計画の円滑な策定ができています。
5	健康いせはら21（第4期）計画推進会議	保健福祉部 健康づくり課	医学部 看護学科 三橋 祐子 准教授	令和6年度から令和10年度までを計画期間とする健康いせはら21（第4期）計画の原案を策定するための会議を実施する。	期日 ①7月12日②9月25日③10月24日
					場所 ①②市役所 2C会議室 ③市役所 全員協議会室
					内容 健康いせはら21（第4期）計画の原案策定
					参加者数 9名
					成果及び課題 3回の開催を経て、各委員より御意見をいただき原案を策定した。

## (2) 保健、福祉及び医療等の推進に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和6年3月末時点）
1	災害時医薬品の供給業務	企画部 危機管理課	医学部附属病院 薬剤部 薬剤科 平綿 洋子 科長	災害時における医薬品の供給に関する協定に基づき、災害時医薬品の備蓄・管理を行う。	期 日 通年
					場 所 市内7か所医療救護所
					内 容 災害時医薬品管理及び更新
					参加者数 延べ4名
					成果及び課題 災害時医薬品の適正管理を実施している。
2	認知症に関する医療と介護の連携	保健福祉部 介護高齢課	医学部 医学科内科学系 永田 栄一郎 教授	地域包括支援センター・医師会・認知症疾患医療センター（東海大学病院）、市により、認知症にかかる医療と介護の連携を強化する。	期 日 7月6日、11月16日
					場 所 Web会議
					内 容 東海大学医学部附属病院 認知症疾患医療センター・地域の医療・介護・福祉の連携体制について
					参加者数 各回35名
					成果及び課題 湘南西部地域の認知症関連事業等の情報について共有された。
3	救急車同乗実習	消防本部 警防救急課	医学部 医学科総合診療学系 中川 儀英 教授	現場救急医療から院内医療への救命リレーの重要性を学習する。	期 日 5月15日～6月6日
					場 所 消防本部
					内 容 救急車の同乗実習 現場救急医療から院内医療への救命リレーの重要性を学習
					参加者数 4名
					成果及び課題 出動件数合計25件。救急現場を理解できる医学生を輩出することができた。
4	伊勢原市派遣型救急ワークステーション	消防本部 警防救急課	医学部 医学科総合診療学系 中川 儀英 教授	救急隊を病院に派遣し救急救命士の再教育を行うとともに、医師同乗で出動し救命効果の向上を図る。	期 日 4月17日～3月22日
					場 所 東海大学医学部附属病院高度救命救急センター
					内 容 救急救命士の再教育と医師・看護師同乗で出動し医師の指導の下、救命処置の実施
					参加者数 救急隊員(675名)医師・看護師(450名)合計1,125名
					成果及び課題 ワークステーションで137件出動。中等症以上の106名が早い段階で医療介入し治療が開始されている。

(3) 市が設置する各種審議会及び専門委員会等への人材派遣に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和6年3月末時点）
1	伊勢原市情報公開審査会	総務部 文書法制課	法学部 法律学科 押久保 倫夫 教授 塩原 真理子 准教授	情報公開請求の諾否決定に対する審査請求や情報公開制度の在り方に関し、市長などからの諮問に応じて調査審議し、その結果を報告する。	期 日 開催なし 場 所 — 内 容 — 参加者数 — 成果及び課題 —
2	伊勢原市個人情報保護審査会	総務部 文書法制課	法学部 法律学科 内山 安夫 教授	個人情報の開示請求の諾否決定に対する審査請求に関する市長などからの諮問に応じて調査審議し、その結果を報告する。	期 日 12月18日 場 所 市役所 内 容 ・委嘱状委嘱式 ・第1回会議 参加者数 4名 成果及び課題 専門的知見から御意見をいただいた。
3	伊勢原市人権施策推進委員会	市民生活部 人権・広聴相談課	病院運営企画室(総務ユニット) 桑久保 ひとみ 課長 法学部 法律学科 押久保 倫夫 教授	本市が展開・実施する各種人権施策について、評価・点検等を行い、人権施策の総合的推進を図る。	期 日 ①7月12日②2月14日 場 所 ①伊勢原市役所3階 全員協議会室②伊勢原市役所2階 2C会議室 内 容 ①委嘱式、委員長及び副委員長選出、第6次総合計画について(人権・男女共同参画に関わる前期基本計画・実施計画)ほか②伊勢原市人権施策推進指針(改定版)に係る令和4年度の点検・評価について 参加者数 ①9名②10名 成果及び課題 専門的見地から御意見をいただいた。
4	伊勢原市いじめ問題再調査会	市民生活部 人権・広聴相談課	医学部 医学科 総合診療学系 本多 ゆみえ 講師 文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	いじめ防止対策推進法の規定による調査の結果について、市長の諮問に応じて調査し、その結果を答申する。	期 日 開催なし 場 所 — 内 容 — 参加者数 — 成果及び課題 —
5	伊勢原市清掃美化審議会	経済環境部 清掃リサイクル課	教養学部 人間環境学科 勝田 悟 教授	清掃に関する制度の改善整備及び清掃美化に関する根本的対策を調査審議する。	期 日 ①10月23日 ②1月29日 場 所 市役所 3A会議室 内 容 ①環境衛生事業の概要、伊勢原市ごみ処理等の適正化及びポイ捨て等の防止に関する条例改正 ②上記条例改正のパブリックコメントの結果報告 参加者数 11名 成果及び課題 条例改正について御意見や御提言をいただいた。

6	伊勢原市社会福祉審議会	保健福祉部 福祉総務課	医学部 看護学科 吉川 隆博 教授	市長の諮問に応じ て社会福祉に関する 事項について、調 査審議する	期 日 ①11月20日②2月19日
			教育開発研究センター 御領 奈美 准教授		場 所 ①②市役所 2C会議室
					内 容 ①保健福祉部所管の各計画の策定 ②重層的支援体制整備について
					参加者数 ①15名②13名
					成果及び 課題 専門的見地から御意見をいただいた。
7	伊勢原市成年後見・権利擁護推進委員会	保健福祉部 福祉総務課	法学部 法律学科 塩原 真理子 准教授	成年後見制度の利用 促進及び伊勢原市 成年後見・権利擁 護推進センターの 適正な事業運営に 関する事項につい て、検討する。	期 日 ①8月24日②2月16日
					場 所 ①市役所 3A会議室②市役所 第2委員会室
					内 容 ①②伊勢原市成年後見・権利擁護支援センター事業実績・計画
					参加者数 ①12名②11人
					成果及び 課題 専門的見地から御意見をいただいた。
8	伊勢原市障害支援区分判定審査会	保健福祉部 障がい福祉課	医学部 看護学科 吉川 隆博 教授	介護給付に係る障 害支援区分に関す る審査と判定を行 う。	期 日 毎月3回(第2金曜日、第1水曜日、第3火曜日)
			健康学部 健康マネジメント学 科 中野 いずみ 教授		場 所 市役所 会議室
					内 容 介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定
					参加者数 5名
					成果及び 課題 専門的な御意見、御判断をいただき、障害支援区分の判定をすることができている。
9	伊勢原市障がい者くらしを考える協議会	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント学 科 中越 章乃 講師	障害者及びその家 族の個々の事情に 即したサービスが提 供されているか、ま た伊勢原市におけ る地域課題や、施策 提案等について確 認し、協議、検討を 行う。	期 日 ①7月6日②10月6日③12月5日(書面会議) ④2月6日(書面会議)
					場 所 市役所 会議室
					内 容 ・各専門部会からの報告を受け、地域課題や施策提案等について、全体での協議検討 ・障害者計画、障害福祉計画、障害児福祉計画の策定及び点検評価 ・困難事例への対応のあり方について ・その他地域の障害福祉について検討すべき事項
					参加者数 20名程度(協議内容により変更あり)
					成果及び 課題 各専門部会からの報告及び提案事項等について御意見、御助言をいただき検討することができている。
10	【新規】 伊勢原市指定管理者候補者選定委員会	保健福祉部 障がい福祉課	医学部看護学科 今泉 郷子 教授	障害福祉センター (すこやか園・ドリー ム)指定管理期間 が、令和5(2023)年 3月31日で期間満了 を迎えるため、指定 管理候補者を選定 する指定管理者候 補者選定委員会を 設置、開催する。	期 日 11月7日
					場 所 市役所 会議室
					内 容 障害福祉センターの指定管理候補を選定
					参加者数 11名
					成果及び 課題 専門的見地からの御意見があり、的確な判断や審査ができた。
11	介護保険運営協議会	保健福祉部 介護高齢課	健康学部 健康マネジメント学 科 西村 昌記 教授	介護保険事業の運 営に関する事項及 び地域包括支援セ ンターの運営等に 関する事項の審議 や高齢者保健福祉 計画・介護保険事業 計画の進行管理を 行う。	期 日 ①5月19日②8月3日③9月28日 ④11月30日⑤2月22日
					場 所 市役所 全員協議会室、3B会議室、2C会議室
					内 容 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画関連 等
					参加者数 各回12名程度
					成果及び 課題 専門的見地から介護保険運営についての御意見等をいただいた。

12	伊勢原市介護認定審査会	保健福祉部 介護高齢課	医学部看護学科 庄村 雅子 教授	介護保険法に規定するもののほか、生活保護法第6条に規定する被保護者であって40歳以上65歳未満の者に係る審査判定業務を行う。	期 日	【実施済み】77回 ※原則月10回開催とし、10合議体の審査会のうち、各委員は7合議体に所属し、月1回出席する。(審査件数が少ない場合、委員が集まらなかった場合には中止となる)
			医学部看護学科 小椋 正道 准教授		場 所	市役所 公害棟会議室等
			教育開発研究センター 船水 浩行 教授		内 容	介護保険法に基づき、要介護(要支援)認定申請のあった者に対し、認定調査及び主治医意見書から、介護度及び認定有効期間を決定する。
			医学部医学科 内科学系 永田 栄一郎 教授		参加者数	4名
			健康学部 健康マネジメント学科 阿部 正昭 教授		成果及び課題	専門的見地から御意見等をいただいた。
			医学部付属病院看護部 西野 隆一 看護師長			
			医学部付属病院看護部 佐藤 政代 看護師長			
			医学部付属病院 診療技術部 リハビリテーション技術科 野中 拓馬 係長			
13	伊勢原市在宅医療と介護連携推進会議	保健福祉部 介護高齢課	医学部 医学科 総合診療学系 小澤 秀樹 教授	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域における医療と介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護サービスを提供する体制構築を推進するため会議を開催し、課題に対する対策を検討する。	期 日	①7月19日②10月25日③2月22日
			医学部 看護学科 端山 淳子准教授		場 所	市役所 2C会議室 (ハイブリッド方式による会議)
			医学部付属病院 患者支援センター 総合相談室 細金 操 室長		内 容	在宅医療介護連携推進に関する内容他
					参加者数	各回16名程度
					成果及び課題	各専門の見地から在宅医療介護連携に関する御意見をいただいた。
14	伊勢原市予防接種健康被害調査委員会	保健福祉部 健康づくり課 感染症対策担当	医学部 医学科 総合診療学系 小澤 秀樹 教授	予防接種法に基づき実施した予防接種により発生した健康被害について、当該被害の適正かつ円滑な調査を行う。	期 日	6月28日
					場 所	市役所 全員協議会室
					内 容	予防接種健康被害救済案件の協議
					参加者数	12名
					成果及び課題	国へ進達した。
15	伊勢原市スポーツ推進審議会	保健福祉部 スポーツ課	スポーツ医科学研究 所 沓澤 智子 特任教授	市民生涯スポーツ推進基本計画に基づき、市民が主体の生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ活動の推進策などを審議する。	期 日	①12月7日②1月30日
			体育学部 生涯スポーツ学科 野坂 俊弥 教授		場 所	市役所 3A会議室、2C会議室
					内 容	スポーツ関係団体補助金額やスポーツ賞被表彰者の審議など
					参加者数	11名
					成果及び課題	専門的な見地から御意見等をいただいた。

16	伊勢原市国民健康保険運営協議会	保健福祉部 保険年金課	教育開発研究センター 御領 奈美 准教授	国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する。	期 日	①10月20日 ②11月28日 ③12月22日 ④1月24日 ⑤3月27日
					場 所	①市役所 2C会議室 ②市役所 第2委員会室 ③市役所 2C会議室 ④市役所 第3委員会室 ⑤市役所 2C会議室
					内 容	・国民健康保険の財政運営状況や見直しについての報告 ・国民健康保険税の税率等の見直しについての協議 ・伊勢原市国民健康保険第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画の説明
					参加者数	①8名 ②8名 ③8名 ④8名 ⑤6名
					成果及び課題	専門的な見地から御意見等をいただいた。 国民健康保険税の税率等の見直しについて諮問を行い、審議のうえ、答申をいただいた。
17	伊勢原市子ども・子育て会議	子ども部 子ども育成課	健康学部 健康マネジメント学科 菅野 和恵 教授	子ども・子育て支援事業計画に関する進行管理、教育・保育施設等に関する事項を審議する。	期 日	①1月31日②2月19日
					場 所	①市役所 第3委員会室 ②市役所 2C会議室
					内 容	①伊勢原市子ども・子育て支援事業計画、教育・保育施設及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みに係るニーズ調査 ②第2期伊勢原市子ども・子育て支援事業計画の令和4年度実績、令和6年度利用定員の設定・変更、条例改正
					参加者数	①13名②10名
成果及び課題	専門的な見地から御意見等をいただいた。					
18	伊勢原市要保護児童対策地域協議会	子ども部 子ども家庭相談課	医学部付属病院 患者支援センター 総合相談室 細金 操 室長	子どもを守る地域ネットワーク構成員と連携強化を図り、児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応について取り組む。	期 日	①7月7日②7月21日③2月16日
					場 所	シティプラザふれあいホール
					内 容	要保護児童対策地域協議会の令和4年度活動実績報告及び令和5年度取組方針等の協議
					参加者数	①23名②14名③24名
成果及び課題	地域における医療機関の立場から専門的助言をいただいた。					
19	伊勢原市都市計画審議会	都市部 都市政策課	建築都市学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授	都市計画案件に関する審議等を行う。	期 日	①8月21日②10月31日 ③1月31日④3月28日
					場 所	市役所 全員協議会室
					内 容	①伊勢原市立地適正化計画の変更他 ②伊勢原大山インターチェンジ周辺地区に係る都市計画の変更他 ③都市計画道路田中笠窪線の都市計画の変更他 ④都市マスタープランの一部改定他
					参加者数	①13名②12名 ③13名④13名
成果及び課題	委員の委嘱と、都市計画の案等の事項に関して協議し、答申をいただいている。					

20	伊勢原市まちづくり審議会	都市部 都市政策課	法学部 法律学科 塩原 真理子 准教授	市民等が主体のまちづくり活動の推進及び支援並びに開発事業の協議調整、また、景観まちづくりに関する審議を行う。	期 日	①6月14日②12月21日
					場 所	①市役所 2C会議室 ②市役所 全員協議会室
					内 容	①委員委嘱、景観計画改定に向けた取組 他 ②景観計画改定(付議)他
					参加者数	①6名②5名
					成果及び課題	委員の委嘱と、景観計画改定等の事項に関して協議し、答申をいただいた。
21	【新規】 教育委員会議	教育部 教育総務課	児童教育学部 児童教育学科 桑原 公美子 教授	教育委員会の取組全般(学校教育、社会教育及び歴史文化等)について、意見を述べたり、附議事項等の審議を行う。	期 日	月1回(原則、第4週の火曜日)開催 【開催済み:6回】
					場 所	市役所 第2委員会室等
					内 容	教育委員会の取組全般(学校教育、社会教育及び歴史文化等)
					参加者数	各15名程度
					成果及び課題	専門的見地から御意見をいただいた。
22	伊勢原市文化財保護審議会	教育部 教育総務課 歴史文化担当	文学部 歴史学科考古学専攻 北條 芳隆 教授	教育委員会の諮問に応じて、文化財の指定、その指定の解除、保存及び活用に関する専門的、技術的事項を調査審議し、教育委員会に建議する。	期 日	①8月25日②3月28日
					場 所	①市役所 第3委員会室②市役所 第2委員会室
					内 容	①委嘱状交付式、令和4年度の事業、令和5年度の主な事業 ②令和5年度の主な事業、令和6年度の主な事業等
					参加者数	①委員6名、事務局6名②5名
					成果及び課題	①伊勢原大山インターチェンジ周辺土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査について、出土資料をどのように保存・活用していくかが課題であるとの御指摘をいただいた。 ②協議事項について、歴史的価値等について協議し、指定にふさわしい旨を市教育委員会へ答申の旨決定した。

23	社会教育委員会 議	教育部 社会教育課	ティーチングクオリ フィケーションセン ター社会教育学系 古里 貴士 准教授	文化や体育の振 興、家庭教育支援、 公民館運営等の社 会教育全般につい て、社会教育委員 会議に出席して意 見を述べる。	期 日 ①5月19日②9月1日 ③1月19日④3月15日
					場 所 中央公民館会議室A、会議室B
					内 容 社会教育全般
					参加者数 12名
					成果及び 課題 専門的見地から御意見をいただいた。
24	伊勢原市立子ど も科学館運営協 議会	教育部 図書館・子ど も科学館	理学部 化学科 藤尾 克彦 教授	子ども科学館の円 滑な運営を図るた めに協議をする。	期 日 8月3日、1月12日
					場 所 伊勢原市立子ども科学館会議室
					内 容 子ども科学館の運営についての協議
					参加者数 委員7名(1月12日は委員6名)
					成果及び 課題 子ども科学館事業等について協議いた だいた。
25	伊勢原市図書館 協議会	教育部 図書館・子ど も科学館	ティーチングクオリ フィケーションセン ター学校教育学系 朝倉 徹 教授	図書館の円滑な運 営を図るために協議 をする。	期 日 7月13日、1月18日
					場 所 伊勢原市立図書館会議室
					内 容 図書館事業についての協議
					参加者数 委員6名
					成果及び 課題 図書館事業について協議していただく とともに会長としてとりまとめいただいた。

(4) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和6年3月末時点）	
1	市民公開講座	保健福祉部 健康づくり課	医学部 医学科外科学系 渡辺 雅彦 教授	地域住民を対象とした公開講座を開催する。(テーマは「肝がん撲滅運動」)	期 日	7月29日
					場 所	東海大学伊勢原校舎・松前記念講堂
					内 容	肝がん撲滅運動
					参加者数	95名
					成果及び課題	肝疾患の治療や食事・薬物療法について各分野の専門が講演し、患者や一般市民・医療従事者に向けて啓蒙した。
2	総合型地域スポーツクラブ運営事業	保健福祉部 スポーツ課	医学部 看護学科 吉川 隆博 教授	市民の体力・健康増進を図るため、年間を通して、全8回のスポーツ教室を3種目と看護・社会福祉・スポーツ運動講座を設け、市民の継続的な運動・スポーツ活動の展開を推進する。	期 日	7月1日～5月18日
					場 所	東海大学伊勢原校舎・伊勢原市立武道館・伊勢原市体育館
					内 容	ウィークデースポーツ教室(筋トレ・ヨガ・エクササイズ)市民健康スポーツ大学(座学・運動)
					参加者数	215名
					成果及び課題	クラブ発足時の担当教員退職等に伴う運営体制の検討を行った。
3	子育てサポーター、ファミリー・サポート・センター支援会員研修会	子ども部 子育て支援課	医学部 看護学科 杉村 篤士 講師	地域全体で子育てをサポートする人材の養成・育成を図るための講座を開催する。	期 日	10月2日
					場 所	市役所3階 3A会議室
					内 容	小児看護の基礎知識
					参加者数	15名
					成果及び課題	新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、新規ファミリー・サポート・センター支援会員及び子育てサポーターの研修会・養成講座並びに既存会員に対するスキルアップ研修を実施した。
4	大学開放講座	教育部 社会教育課	医学部 看護学科 吉川 隆博 教授 (その他関連学部) 健康科学部 体育学部	健康、生活、福祉等の基本的な知識と技術を習得するための機会と場を提供する。	期 日	①10月28日②11月4日③11月25日 ④12月2日⑤12月16日
					場 所	東海大学伊勢原校舎
					内 容	健康や生活、福祉などの基礎知識及び体力作りのための基礎技術
					参加者数	35名
					成果及び課題	生涯学習に対するニーズが高まる中、市民が健康、生活、福祉や運動についての基礎知識を学ぶことができた。
5	市民のための図書館教養講座	教育部 図書館・子ども科学館	文学部 日本文学科 下鳥 朝代 教授	市民の読書欲、探究心の向上を図るため、教養講座を開催する。	期 日	11月25日
					場 所	伊勢原市立図書館AVホール
					内 容	光源氏の物語『源氏物語』をよむ
					参加者数	定員50名
					成果及び課題	2024年NHK大河ドラマで市民の関心の高い源氏物語を題材に、光源氏の生涯を丁寧に読み解く講座を開催した。

(5) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和6年3月末時点）
1	道灌まつりポスターデザイン	経済環境部 商工観光課	教養学部 芸術学科 池村 明生 教授	東海大学の学生による道灌まつりのポスターデザインを行う。	期 日 6月～8月
					場 所 東海大学湘南キャンパス
					内 容 道灌まつりポスターデザインの作製
					参加者数 6名
					成果及び課題 6名6作品から1作品を選出し、ポスターおよびプログラムに起用した。
2	平成大山講プロジェクト推進協議会	経済環境部 商工観光課	観光学部 観光学科 西尾 敏 特任教授	神奈川県の新たな観光の核づくり事業の認定を受け、かつての「大山講」のように多くの人が訪れたにぎわいのある大山の再現を目指す。	期 日 7月21日
					場 所 市役所 全員協議会室
					内 容 令和4年度実施結果と令和5年度実施計画
					参加者数 21名
					成果及び課題 各市の観光事業計画を共有した。
3	第56回伊勢原観光道灌まつりに係る「市民安全・安心パレード」	経済環境部 商工観光課	東海大学吹奏楽研究会	交通安全関係者及びボーイスカウト等とパレードを行い、交通安全等を呼びかける。	期日 10月1日
					場所 伊勢原市内
					内容 交通安全関係者及びボーイスカウト等とのパレード実施
					参加者数 63名
					成果及び課題 来場者に交通安全を呼びかけた
4	TOKAIグローバルフェスタ湘南マールシェ出店	経済環境部 商工観光課 (観光協会) 教育部 教育総務課 歴史文化担当	学長室(地域連携担当)	東海大学湘南キャンパスに特産品を販売・PRするスペースを開設し、伊勢原市の魅力や情報を発信する。	期 日 10月14日
					場 所 東海大学湘南キャンパス
					内 容 伊勢原の特産品を販売・日本遺産大山詣り体験
					参加者数 ー
					成果及び課題 多くの来場者に特産物をPRする機会となり売上にも繋がった。

(6) 大学の学術研究における行政情報の提供に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和6年3月末時点）
----	-----	-------	------------	------	-------------------

該当なし

(7) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和6年3月末時点）
1	東海大学婦恋高原研修センター施設利用	企画部 経営企画課	理事長室 学園総務課	群馬県吾妻郡婦恋村にある「東海大婦恋高原研修センター」について、伊勢原市民が東海大学関係者と同じ割引価格で利用できる覚書を締結し、利用促進の広報等を実施する。	期 日 通年
					場 所 ー
					内 容 市民等の申込により、センターの宿泊場所及び付随施設を提供
					参加者数 ー
					成果及び課題 市ホームページにて周知した。広報いせはら3/15号にて周知した。
2	2023年度東海大学医学部解剖慰霊祭	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	病院本部病院運営 企画室	東海大学医学部解剖慰霊祭について、市民文化会館を使用し、実施する。	期 日 10月18日～10月19日
					場 所 市民文化会館大ホール
					内 容 解剖慰霊祭
					参加者数 400名
					成果及び課題 施設の相互利用により、解剖慰霊祭を開催することができた。
3	Spring CONCERT2023	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	東海大学吹奏楽研究会	東海大学吹奏楽研究会Spring CONCERT2023について、市民文化会館を使用し、実施する。	期 日 4月8日～4月9日
					場 所 市民文化会館大ホール 他
					内 容 Spring Concert2023
					参加者数 1,100名
					成果及び課題 施設の相互利用により、Spring Concertを開催することができた。
4	AUTUMN CONCERT2023	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	東海大学吹奏楽研究会	東海大学吹奏楽研究会AUTUMN CONCERT2023について、市民文化会館を使用し、実施する。	期 日 10月7日～10月8日
					場 所 市民文化会館大ホール 他
					内 容 Autumn Concert2023
					参加者数 1,000名
					成果及び課題 施設の相互利用により、Autumn Concertを開催することができた。
5	伊勢原吹奏楽フェスティバル	市民生活部 市民協働課 市民文化会館	東海大学吹奏楽研究会	市民文化会館の自主事業にゲスト出演いただき芸術・文化の普及・振興を行う。	期 日 6月17日、6月18日
					場 所 市民文化会館大ホール 他
					内 容 吹奏楽フェスティバル
					参加者数 1,800名
					成果及び課題 市民文化会館自主事業として多数の参加があり、好評を得た。

## (8) その他

番号	事業名	市担当部課	学部課名・担当教員等	事業目的	主な実施結果（令和6年3月末時点）
1	KWCプロジェクト	企画部 経営企画課	KWC (一般社団法人 Kanagawa Wellness Corridor)	東海大学、近隣自治体、民間企業が連携し、地域の活性化や持続可能な地域社会の構築を図ることを検討する KWCの総会等へ出席する。	期 日 6月23日
					場 所 ー
					内 容 解散決議
					参加者数 ー
					成果及び課題 ー
2	伊勢原市デジタル移動通信システム連絡協議会	企画部 危機管理課	病院本部 病院運営企画室 (総務ユニット) 齋藤 祐佳 係長	デジタル移動通信システムの管理及び運用基準について確認を行う。	期 日 4月18日
					場 所 市役所 2C会議室
					内 容 デジタル移動通信システムの運用等確認
					参加者数 14名
					成果及び課題 防災技術及び知識を向上させることができた。
3	伊勢原市総合防災訓練	企画部 危機管理課	病院本部 病院運営企画室 (総務ユニット)	災害時応援協定に基づく災害時医薬品の調達、災害時医薬品の搬送について、総合防災訓練を通じて、役割分担等の確認を行う。	期 日 1月21日
					場 所 東海大学医学部付属病院、成瀬小学校ほか
					内 容 災害時医薬品の調達・搬送訓練
					参加者数 5名
					成果及び課題 関係機関との連携体制を強化できた。
4	【新規】 風水害対策訓練	企画部 危機管理課	医学部 医学科 中川 儀英 教授  情報理工学部 情報メディア学科 内田 理 教授	東海大学が独自に開発した、避難所の情報共有システムを訓練に合わせて操作確認を行う。	期 日 5月28日
					場 所 大山小学校
					内 容 災害時の情報共有システム入力訓練
					参加者数 2名
					成果及び課題 関係機関との連携体制を強化できた。
5	就業体験学生(インターンシップ)実習事業	総務部 職員課	政治経済学部 政治学科 小林 隆 教授	行政に参加する機会と情報を学生に提供する。	期 日 8月3日～8月9日
					場 所 市役所
					内 容 各所属における行政体験実習
					参加者数 1名
					成果及び課題 地域の大学と連携した人的資源の活用が図られた。

6	伊勢原市平和史料収集事業	市民生活部 市民協働課	文化社会学部 広報メディア学科 水島 久光 教授	①中学生ヒロシマ平和の旅に同行してもらい、学習の成果を撮影してもらう。 ②平和史料収集事業(平和史料展示、史料のデータベース化、平和ドキュメンタリー映像制作等)の実施に向けて、事業の進め方への協議をすするとともに、撮影等については学生に協力してもらう。	期 日 ①8月5日～8月6日 ②8月25日～8月27日(パネル展示)
					場 所 ①広島市内 ②市民文化会館展示室1・2(パネル展示) 撮影地:高部屋地区(平和ドキュメンタリー映像)
					内 容 ①現地での講義等 ②展示内容の監修及び内容説明(パネル展示) 映像の撮影及び編集(平和ドキュメンタリー映像)
					参加者数 ①市立中学校3年生8名、随任教諭2名、水島研究室3名 ②来場者297名(パネル展示) 視聴者数4,937回(5/16時点)
					成果及び課題 事業を通じて市民の平和意識を啓発し、平和の尊さ・戦争の悲惨さへの理解を深めることができた。パネル展示において若年層の来場者数を増やすために、効果的な周知を実施することが今後の課題である。
7	【新規】 環境体験演習 (出前講座)	経済環境部 清掃リサイクル課	教養学部 人間環境学科 勝田 悟 教授 小坂真理 准教授	「環境体験演習」の授業の一環として廃棄物関連施設を見学し、廃棄物行政の一端を体感する。	期 日 8月1日
					場 所 はだのクリーンセンター及び資源リサイクルセンター
					内 容 廃棄物関連施設の見学
					参加者数 25名
成果及び課題 廃棄物について関心を持っていただいた。					
8	治験審査委員会 (病院主催)	保健福祉部 健康づくり課	医学部 医学科 専門診療学系 馬淵 智生 教授	治験の安全性と理論性の審査を行う。	期 日 月1回実施
					場 所 オンライン開催
					内 容 治験薬審査
					参加者数 審査委員16名(市は1名)
					成果及び課題 治験審査が適正に行われた。
9	臨床研究審査委員会 (病院主催)	保健福祉部 健康づくり課	医学部 スポーツ医科学研究 所 灰田 宗孝 特任教授	人を対象とした医学系研究における倫理的配慮に関して審査を行う。	期 日 月1回実施
					場 所 オンライン開催
					内 容 人を対象とした医学系研究における倫理的配慮に関しての審査
					参加者数 審査委員15名(市は2名)
					成果及び課題 臨床研究の審査が適正に行われた。
10	神奈川県ドクターヘリ運行調整委員会 (病院主催)	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院長 医学部 医学科 外科学系 渡辺 雅彦 教授	ドクターヘリの効果的かつ安定的な運行に必要な諸機関の調整・広報・調査及び検証を行う。	期 日 毎月(メールによる実績報告のみ)
					場 所 メールによる実績報告書の送付
					内 容 効率的かつ安定的な運航を行うための調整及び検証
					参加者数 未把握
					成果及び課題 ドクターヘリの運航状況が正しいか外部委員として審査することにより、効果的な運航に繋がっている。

11	東海大学医学部 附属病院ドクター カー運営委員会 (病院主催)	保健福祉部 健康づくり課	医学部附属病院長 医学部 医学科 外科学系 渡辺 雅彦 教授	東海大学医学部付 属病院での救急体 制に関する検討を 行う。	期 日	通年
					場 所	—
					内 容	—
					参加者数	—
					成果及び 課題	連絡があり次第、随時開催
12	東海大学医学部 附属病院医療安 全管理業務監査 委員会 (病院主催)	保健福祉部 健康づくり課	医学部附属病院長 医学部 医学科 外科学系 渡辺 雅彦 教授	病院の医療安全管 理業務が適切に遂 行されていることを 確認するため、監査 委員の立場から、必 要な意見・助言を行 う。	期 日	—
					場 所	—
					内 容	—
					参加者数	—
					成果及び 課題	—
13	【新規】 伊勢原市スマート モビリティ社会に 向けたまちづくり の構想に関する 研究会	都市部 都市政策課	建築都市学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授	近未来のスマートモ ビリティ社会に向け て、最先端技術を活 用したスマート新駅 や新たな産業都市 軸の形成、新たなモ ビリティ等の検討を 進めていくため、産 官学が連携した検 討組織により、新た なまちづくりの考え 方を整理し、将来の まちづくり構想骨子 案を作成すること。	期 日	①10月16日②11月21日 ③1月26日④2月22日
					場 所	①市役所 全員協議会室 ②市役所 2C会議室 ③市役所 全員協議会室 ④市役所 全員協議会室
					内 容	①スマートモビリティ社会の考えの共有 ②先進事例研究とテーマ別意見交換 ③スマートモビリティ社会の方向性・連携 方策 ④まちづくり構想骨子案と今後の進め方
					参加者数	①12名②9名 ③11名④12名
					成果及び 課題	豊富な知見により議論にご助力いただ くとともに、まちづくり基本構想骨子案の作 成に寄与いただいた。
14	伊勢原市教育委 員会点検評価 (外部有識者によ る意見)	教育部 教育総務課	文学部 歴史学科 日本史専攻 兼平 賢治 准教授	教育委員会所管事 業の点検評価につ いて、外部有識者の 視点から意見を述 べる。	期 日	8月～9月 (会議は8月8日に開催)
					場 所	市役所 第2委員会室
					内 容	令和4年度教育委員会所管事業の点検 評価に対する意見
					参加者数	各15名程度
					成果及び 課題	専門的見地から御意見(書面)をいただ いた。
15	養護実習	教育部 学校教育課	医学部 看護学科 籠谷 恵 准教授	教育実習生受入依 頼を受けた場合、市 内中学校が直接受 入れを行う。	期 日	5月8日～6月2日
					場 所	成瀬小
					内 容	養護教諭教育実習
					参加者数	1名
					成果及び 課題	養護教諭の職務を実践的に学ぶ場を提 供できた。

16	ショートインターンシップ	教育部 学校教育課	児童教育学部 児童教育学科 前田 晶子 教授	インターンシップ受入依頼を受けた場合、市内小学校が直接受入れを行う。	期 日	10月3,4日
					場 所	大山小・成瀬小・竹園小
					内 容	2日間の見学・体験
					参加者数	3名
					成果及び課題	大学1年生が出身地での見学・体験を行う場を提供することができた。
17	【新規】 学校体験活動	教育部 学校教育課	児童教育学部 児童教育学科 前田 晶子 教授	学校体験活動受入依頼を受けた場合、市内小学校が直接受入れを行う。	期 日	6月26～30日
					場 所	伊勢原小・高部屋小
					内 容	5日間の見学・体験
					参加者数	10名
					成果及び課題	大学2年生が見学・体験を行う場を提供することができた。
18	【新規】 いせはらスクール・ボランティア	教育部 学校教育課	ティーチングクオリフィケーションセンター 学校教育学系 朝倉 徹 教授	ボランティア活動受入依頼を受けた場合、市内小中学校が直接受入れを行う。	期 日	6月～3月
					場 所	大山小・成瀬小・竹園小・伊勢原中・中沢中
					内 容	鼓笛指導・体育指導・個別支援・特別支援学級補助
					参加者数	6名
					成果及び課題	希望する大学生に小中学生とふれあう場を提供することができた。
19	【新規】 いせはらスクール・ボランティア	教育部 学校教育課	医学部 看護学科 籠谷 恵 准教授	ボランティア活動受入依頼を受けた場合、市内小中学校が直接受入れを行う。	期 日	2月～3月
					場 所	成瀬小・大田小・中沢中
					内 容	保健室業務の手伝い
					参加者数	4名
					成果及び課題	養護教諭を志す学生に学校での体験の機会を提供する。
20	学校訪問教育相談研修会	教育部 教育センター	医学部 医学科専門診療学系 高橋 有記 講師  文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	市内小中学校において、精神科医、臨床心理士などの専門家を講師に招き、事例検討会を行う。	期 日	①6月12日②6月26日③8月28日 ④10月17日⑤10月23日
					場 所	各小中学校
					内 容	不登校や多動等、集団生活にうまく適応できない児童生徒についての事例研究・情報交換等
					参加者数	各回15名～30名程度
					成果及び課題	専門的な見地から児童生徒の理解を深める機会となっている。
21	ハートフルフレンド活用事業	教育部 教育センター	健康学部 健康マネジメント学科 小林 理 教授  ティーチングクオリフィケーションセンター 学校教育学系 朝倉 徹 教授	話し相手がいらない、仲間に入りづらい、集団活動に適應しにくい等の児童生徒を対象に、友人、家庭関係及び学習についてなどの心配事を気軽に相談したり、話を受け止めたりすることができるハートフルフレンドとして学生ボランティアを配置し、教育相談の充実を図る。	期 日	通年
					場 所	市内小中学校
					内 容	話し相手がいらない、仲間に入りづらい等の児童生徒を対象に、話し相手、遊び仲間又は学習支援者として活動
					参加者数	3名
					成果及び課題	学生にボランティア活動を行う機会を提供できている。

22	東海学級連絡協議会	教育部 教育センター	医学部 医学科総合診療学系 小池 隆志 講師  病院運営企画室 (総務ユニット) 桑久保 ひとみ 課長	東海学級(院内学級)の管理・運営及び伊勢原市教育委員会と東海大学医学部付属病院との連絡・調整を行う。	期 日	①5月②11月③2月
					場 所	①書面開催②書面開催③書面開催
					内 容	東海学級での活動報告を通じた様子確認、情報交換
					参加者数	15名程度
					成果及び課題	東海学級の管理・運営について共通理解が促進され、東海学級の円滑な運営を図ることができている。
23	適応指導(教育支援)教室実習	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授 山田 幸恵 教授	教育センターと大学院側双方のそれぞれのねらいを達成することを目的に教育センター・適応指導(教育支援)教室において実習を行う。	期 日	5月～9月
					場 所	適応指導(教育支援)教室
					内 容	児童・生徒の抱える問題やニーズを把握した適切な支援
					参加者数	2名
					成果及び課題	適応指導(教育支援)教室通室児童生徒への適切な関わりを通じ教室のより良い運営を図ることができている。
24	適応指導(教育支援)教室 スーパーヴィジョン	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	様々な課題を抱えた子どもたち、その家族に対して専門的に接するには、知識・経験・人格・コミュニケーションの技術が必要であるため、適応指導教室に携わる職員は技術・人間性の向上のために、スーパーヴィザーによる指導を仰ぐ場とする。	期 日	11月8日
					場 所	適応指導(教育支援)教室
					内 容	事例検討
					参加者数	5名
					成果及び課題	教室に通室する児童生徒の理解と対応を深める機会となっている。
25	教育センター・適応指導(教育支援)教室施設見学実習	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 菅沼 真樹 准教授 中島 由宇 講師	公認心理師養成にかかる「心理実習」を受け入れる。	期 日	6月22日
					場 所	教育センター
					内 容	公認心理師養成にかかる学部4年生への実習指導
					参加者数	6名
					成果及び課題	心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、多職種連携及び地域連携、公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解の獲得に寄与した。